

桑野っ子通信

令和六年二月二日発行

桑野小学校学校新聞

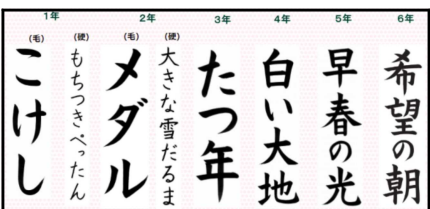
発行責任者 校長 角田 雅仁

県書き初め展「奨励学校賞」受賞

みんなでがんばったぐ褒美をいただく

書き初め展で栄誉

福島県書き初め展に出品した本校の子ども達の努力を賞して、「奨励学校賞」の団体賞をいただきました。



この賞は、まさに「福島県書き初め展」に全校体制で取り組んだことと子どもたちの日頃の学習の成果が認められた成果です。また、書き初めを実施するに当たり、その様子を温かく見守ってくださった保護者の皆様の支えがあったのも、この賞でもあります。福島県教育会館のホームページに二月十二日(月)から二十

九日(木)まで掲載されます。

なわとび記録会

なわとび記録会が学年ごとに始まりました。それぞれ、自分の目標の回数や時間を決めて、「自分の戦い」に挑んでいます。写真は三年生の記録会の様子です。子ども達が、がんばっています。



【3年生なわとび記録会】

うれしいおたより

子ども達のなわとびの技能向上に役立てばと、一月初旬に左の写真のようなジャンピングボードを二台ほど木工工作で作ってみました。練習に使ってみてください。ジャンピングボードで跳んだらはやぶさが二十回も跳べました。



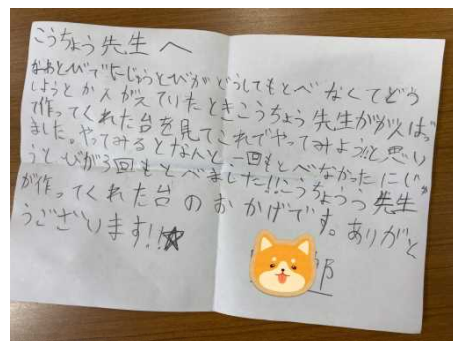
など、朗報が続々と届いていた中で、ある子どもから、苦手だった二重跳びができたという、次の写真のような嬉しいお便りが届きました。できた喜びが伝わり、大変嬉しかったです。

新型コロナウイルスの再流行注意

インフルエンザの感染は落ち着いて参りましたが、県内、市内では新型コロナウイルスが流行してきています。感染者の約五十パーセントが十代以下だぞつです。手洗い、換気、マスクの着用等、基本的な感染対策を進めて参りますので、ご家庭のご協力をお願いいたします。ほげんだよりでも、関連してお知らせしておりますので、ご確認ください。

高校生がやってきた

十二月から、本校に安積黎明高校の生徒三十七名が高校の「探究学習」の一環として、本校に関わっています。高校生で将来教員を目指す「教育コース」を選択している生徒さん達の教育プログラムとして、本校が連携して協力をしているものです。



【子どもからのおたより】

冬休み中の、十二月二十五日、二十六日にはウインタースクールでの二日間、子ども達に学習を教えてもらいました。先日の一月二十五日には、霧島市立国分南小学校の特別支援学級の大江浩光先生による特別支援教育校内研修会に本校の職員と高校生が参加し、特別支援教育の在り方を学ぶとともに、互いの交流の機会にもなりました。

さらに、一月三十一日には、三年生、五年生、六年生の授業参観をし、小学校の教員の授業について学んでもらいました。二月二十八日には、高校生に学年の各クラスに入り、授業実習体験を行う予定です。本校の子ども達が、未来のために努力している生徒さんとの触れ合いを通して、子ども達も自分の将来を考える素敵な機会になることを期待しています。



【研修会での高校生と先生の交流】